

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 認定
回復期セラピストマネジャーコース



平成 30 年度開講 第 9 期 募集要項

問合せ先 回復期リハビリテーション病棟協会 事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 9 階
電話 : 03-5281-8531 FAX : 03-5281-8535 E-mail : kaifukuki@rehabili.jp

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 主催
平成 30 年度 回復期セラピストマネジャーコース
第 9 期 募 集 要 項 (概 要)

回復期リハ病棟の制度ができ病棟数は増加傾向にあり、既に回復期リハ病棟に従事している PT・OT・ST(以下、セラピスト)数は、約 1 万 5 千人超となっています。多職種のスタッフがチームを組んで自宅復帰を目指す回復期リハ病棟においては、病棟におけるマネジメントは重要な課題です。

本会では、この課題解決に向けて、病棟マネジメントにもセラピストが積極的に関わるべきであると考え、平成 23 年度より「回復期セラピストマネジャーコース」を開講いたしました。18 日間に亘る経験豊かな講師陣による充実した講義を受講でき、さらに全国の仲間と知り合う機会ともなり、大変有意義なコースです。

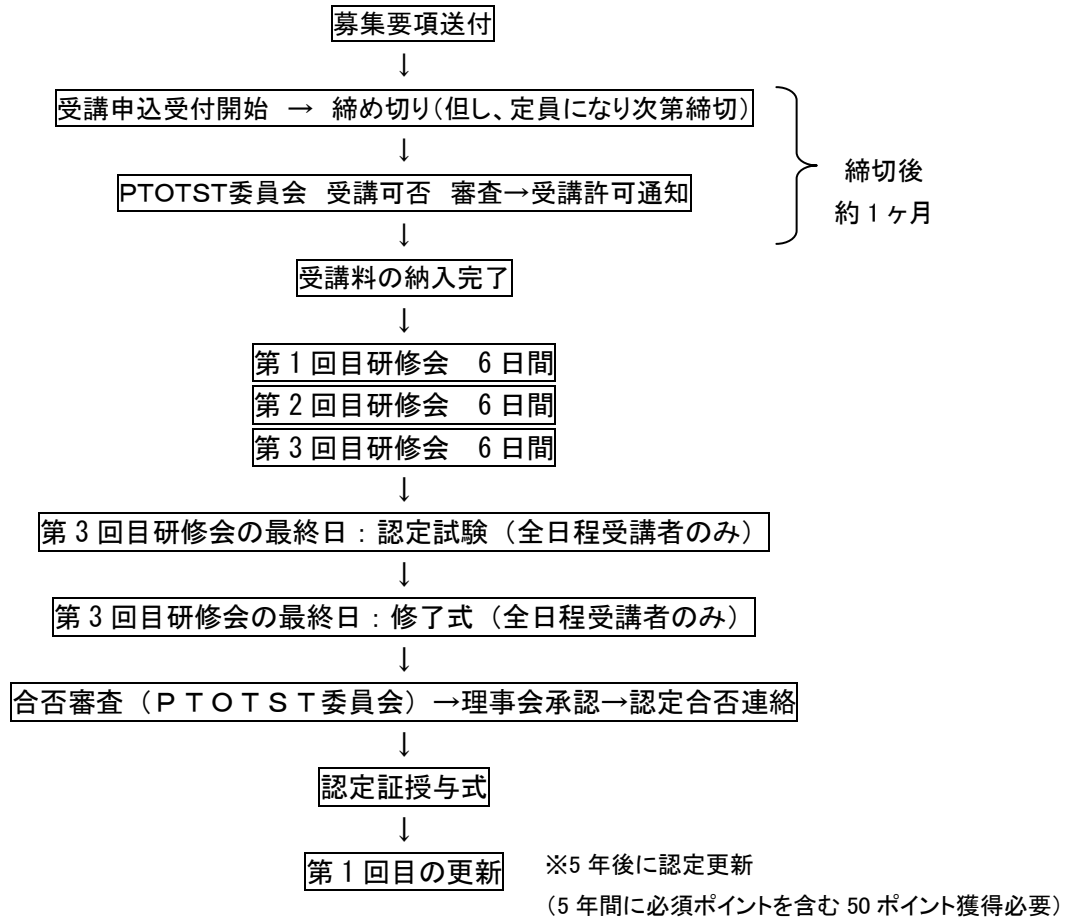
概略は下記のとおりとなります。別紙の申込書にて、お申込みをお待ちしています。

目 的:入院患者及びその家族に対する質の高いリハビリテーションサービスの提供は当然のこと、人的・環境的リスクに関するリスク管理及び多職種との協働、さらに病棟運営に寄与し組織管理を実践できる回復期リハビリテーション病棟におけるセラピストマネジャーとしての PT・OT・ST を育成すること

認定証:要件を満たした者に対して、回復期リハビリテーション病棟協会会長名で認定証を交付します。

| 募集要項 | | | | | | | | | | |
|--|---|---|------------|---|---------------------|--|--------------------|--|----------------|--|
| <p>募集人数 120 名 受付は先着順ですが、受講資格についての審査があります。(3 月 1 日より受付開始です。) 申し込みいただきました後、順次、PTOTST 委員会にて審査をいたしますので受講可否についてのご返答は時間をいただきますこと予めご了承ください。(約 1 ヶ月ほどお時間をいただきます。)また、できるだけ多くの会員病棟様にご参加いただきたく、原則として 1 病院より 2 名までの参加とさせていただきます。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>1 回 6 日間の研修を 1 年間に 3 回開催、合計 18 日間の研修を行います。 平成 30 年 7 月 17 日(火) ～ 7 月 22 日(日) 平成 30 年 9 月 4 日(火) ～ 9 月 9 日(日) 平成 30 年 11 月 6 日(火) ～ 11 月 11 日(日) 各日、開講科目によって、開始時間、終了時間共に異なります。最長で 9:00～18:30 という講義日程があることをご了承頂きお申し込みください。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>会場: 三田 NN ホール 東京都港区芝 4-1-23 三田 NN ビル 地下 1 階 TEL 03-5443-3233 最寄駅: 都営三田線・都営浅草線 三田駅(直結) JR 田町駅(徒歩 5 分)</p> | | | | | | | | | | |
| <p>応募要件: 次の①～⑦の要件をすべて満たしている者</p> <table border="0"> <tr> <td>①PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属</td> <td>⑥本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有する</td> </tr> <tr> <td>②本会会員施設に所属</td> <td>⑦全研修日程(6 日間×3 回)を通して参加する (遅刻・早退・中抜けは認められません)</td> </tr> <tr> <td>③療法士免許取得後実務経験 8 年以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤施設長、または上司の推薦書</td> <td></td> </tr> </table> | ①PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属 | ⑥本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有する | ②本会会員施設に所属 | ⑦全研修日程(6 日間×3 回)を通して参加する (遅刻・早退・中抜けは認められません) | ③療法士免許取得後実務経験 8 年以上 | | ④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上 | | ⑤施設長、または上司の推薦書 | |
| ①PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属 | ⑥本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有する | | | | | | | | | |
| ②本会会員施設に所属 | ⑦全研修日程(6 日間×3 回)を通して参加する (遅刻・早退・中抜けは認められません) | | | | | | | | | |
| ③療法士免許取得後実務経験 8 年以上 | | | | | | | | | | |
| ④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上 | | | | | | | | | | |
| ⑤施設長、または上司の推薦書 | | | | | | | | | | |
| <p>注 1 現在、回復期リハビリテーション病棟に所属していることが必要です。 注 2 申込みされる前に、必ず認定規約および運営細則をお読みください。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>平成 30 年度研修費用: 200,000 円 ※自己都合によるキャンセルは別規定によるキャンセル料がかかります。当会ホームページ「学ぶ」のページよりキャンセル規定についてお読みください。 ※18 日間の研修受講料・テキスト代・お弁当代・交流会費、認定授与式祝賀会代を含みます。 ※交通費・宿泊費等は受講者負担とします。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>お申し込みいただく際には下記①②の内容が必要となります。 ①受講者は、申込書に「受講の動機」および「認定後の意向(どうしたいと思っているか)」を具体的に記載ください。 ②推薦者(施設長もしくは上司)は、推薦書に「認定後の病棟あるいは病院の意向(認定者をどのように活用され、どのように期待しておられるか)」を具体的に記載頂きますようお願いいたします。</p> | | | | | | | | | | |

参考:回復期セラピストマネジャーコース 認定までの流れ



参考：回復期セラピストマネジャーコース 平成29年度8期 講義実績 (敬称略・順不同)

※平成29年度8期の実績ですので、平成30年度は予告なく変更になる場合があります。

| 講義タイトル | 講師 | 講義タイトル | 講師 | 講義タイトル | 講師 |
|--|--------|--------------------------|-----------|---|-----------|
| 回復期リハビリテーション病棟協会 セラピストマネジャーの意義 | 斉藤 秀之 | 多職種連携の進め方 | 下田 静香 | チームビルディングのためのリーダーシップとマネジメント | 堅田 由美子 |
| 回復期リハビリテーション病棟の現状と課題 | 園田 茂 | 認知症・せん妄の理解と対応 | 桑田 美代子 | 嶋下隆吉 | 椎名 英貴 |
| 回復期リハビリテーション病棟の歴史と意義 | 石川 誠 | 終末期ケア | 桑田 美代子 | 病棟マネジメントに必要な労務・経営・財務管理と法令順守 | 森本 榮 |
| リハビリテーション科専門医の役割 | 園田 茂 | 各職種の役割とゴール設定 | 小泉 幸毅 | 回復期リハビリテーション病棟ソーシャルワーク | 榊原 次郎 |
| 地域リハビリテーション | 浜村 明徳 | 自衛隊に活かす医療安全管理 | 山上 浩一 | リハビリテーション医療における連携の視点 ～回復期から地域リハ活動へ向けて～ | 栗原 正紀 |
| 地域包括ケアシステム推進に向けたPT・OT・STの役割 | 川越 雅弘 | 地域リハビリテーションと回復期リハビリテーション | 澤村 誠志 | 病棟マネジメント(総論) | 小林 由紀子 |
| 頭部外傷の理解 | 中村 俊介 | 高次脳機能障害のリハビリテーション | 橋本 圭司 | リハビリテーション看護 | 猪川 まゆみ |
| 地域スタッフとの連携 | 佐藤 浩二 | 廃用症候群とリハビリテーション | 星宇 明元 | 病棟マネジメント(実務) | 松原 徹 |
| リハ医療と治療目標 | 菅原 英和 | 訪問リハビリテーション | 宮田 昌司 | メンタルヘルスマネジメント | 山田 るり |
| 障害者のリハビリテーションと社会制度 | 伊藤 利之 | 生活の再構築と自立支援 | 澤 俊二 | 転倒・転落の考え方と対策 ～KYTの手法を用いて～ | 奥山 夕子 |
| リハビリテーション医療に必要な運動学 | 才藤 栄一 | グループワーク(情報交換) | PTOTST委員会 | 通所リハビリテーションの本質と今後のあり方 | 斉藤 正身 |
| 障害受容に関する理論 | 栗生田 友子 | コミュニケーション論 | 森田 秋子 | リハビリテーションマインドⅠ | 大田 仁史 |
| 脳卒中の理解 | 宮井 一郎 | 住宅改修とテクノaid | 河添 竜志郎 | リハビリテーションマインドⅡ | 石川 誠 |
| 回復期リハ対象の運動器疾患の理解 | 西村 一志 | リハビリテーションと栄養管理 | 中込 弘美 | | 浜村 明徳 |
| 回復期リハビリテーション後の継続リハと地域連携 | 井上 智貴 | グループワーク(10か案・5か案) | PTOTST委員会 | ADLの動作分析とその対応 | 瀧 雅子 |
| チームSTEPS ～エビデンスに基づいたチームトレーニング～ | 渡邊 進 | 日常診療に潜む倫理問題に気づき、対処するために | 稲葉 一人 | マネジメントにおけるデータ管理 | 沖田 啓子 |
| 骨髄損傷の理解 | 田中 宏太佳 | 会議の進め方 | 岩崎 榮 | 人材育成とセラピスト教育の実践 | 井手 伸二 |
| これからのセラピストのあり方 | 松木 秀行 | | 小栗 祐子 | 体験発表(先輩認定セラピストマネジャー) | PTOTST委員会 |
| 回復期リハ病棟における口から食べる支援 | 竹内 茂伸 | 組織論・管理学・教育学 | 北浦 暁子 | セラマネの先輩と語ろう(体験発表者をもとに) | PTOTST委員会 |
| 病棟や在宅で介護を担う家族や介護者とともにケア方法を検討しよう | 砂古口 雅子 | 医療記録 | 後藤 伸介 | | |
| リハビリテーション実務における合併症のリスク管理 (心臓疾患・糖尿病・高血圧・呼吸器疾患を中心に) | 森嶋 克昌 | | | | |

(別紙 1) FAX 03-5281-8535

申込日 年 月 日

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 行

TEL03-5281-8531

平成 30 年度 回復期セラピストマネジャーコース第 9 期 受講申込書

| | | | | |
|---|---------|---------------------------|-------------------|--|
| 連絡先 | フリガナ | | | |
| | 病院名 | | | |
| | 病院所在地 | 〒 | | |
| | 申込担当者氏名 | フリガナ | e-mail 必ず記入してください | |
| TEL | | FAX | | |
| 受講希望者氏名 <small>(申込担当者と同じであっても記入してください)</small> | フリガナ | 職種 (○をしてください) PT OT ST | 役職 | |

受講資格要件について (はい・いいえに○をしてください。要件を満たさない場合は受講できません)

| | | | |
|--|----|----------|-----|
| ① PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属している | はい | 所属協会会員番号 | いいえ |
| ② 本会会員施設に所属している | はい | | いいえ |
| ③ 療法士免許取得後実務経験が研修会初日 (平成 30 年 7 月 17 日) 時点で 8 年以上である | はい | (年 月) | いいえ |
| ④ 回復期リハ病棟実務経験が研修会初日 (平成 30 年 7 月 17 日) 時点で 1 年以上である | はい | (年 月) | いいえ |
| ⑤ 施設長、または上司の推薦書がある | はい | | いいえ |
| ⑥ 本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有している | はい | | いいえ |
| ⑦ 全研修日程 (6 日間×3 回) を通して参加できる | はい | | いいえ |

| | | |
|---------------------|------|--------------------|
| 応募理由 (受講の動機、認定後の意向) | 推薦書 | |
| | 推薦者 | 役職 (直筆) 氏名 (直筆) |
| | 推薦理由 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

- 平成 30 年 3 月 1 日 (木) より受付開始です。●推薦者氏名・役職は、直筆でお願いします。
- PTOTST 委員会の審査を経て、受講の可否を事務局から通知いたします。
- FAX での送信が、記載内容等の都合で適さない場合は、郵送にて送付してください。